

# 大学体育授業におけるバドミントンのルールと 技術の教授方法についての実践研究① — 2022 年度春学期「生涯スポーツ」—

Practical study on how to teach badminton rules,  
techniques and skills in university physical education  
class (I): The spring term of 2022

高千穂大学体育系列  
廣瀬文彦  
Fumihiko Hirose  
新井健之  
Takeyuki Arai

## 1. はじめに

著者は 2019 年度までの体育実技授業において、競技のルールや技術、戦術等についてプリント資料を配布して説明することがあっても、映像資料等を利用して説明することはなかった。

2020 年度のコロナ渦（4 月 7 日に 7 都道府県に緊急事態宣言が発せられ、4 月 16 日には緊急事態宣言の対象地域が全国に拡大され 5 月 25 日に全国で解除された）の影響により、大学の授業は、「全国の国公私立 1,012 校すべての学校において授業が実施されており、そのうち 858 校（84.7%）において面接・遠隔授業を併用、または遠隔授業を実施していた。」<sup>1)</sup>（難波ほか 2020）となった。

そこで、著者は卓球及びバレーボールの授業で映像資料やスライドを用いた資料提示と対面授業を組み合わせることで説明することの実践研究を行った。その研究では、「『遠隔授業』と『対面授業』を組み合わせることについてはおおむね好意的であったが、課題も抽出された。」<sup>2)</sup>、（廣瀬・齊藤 2022）「本稿で行った

(バレーボールのスパイクに特化した) 練習の評価は高かった。」<sup>3)</sup> (廣瀬・齊藤 2022) とまとめた。

本稿の対象となった授業である教養科目「生涯スポーツ (バドミントン)」のシラバスには、授業の概要と到達目標として「ルールを理解し技術と戦術を向上させる」<sup>4)</sup>と記載されている。この目標を達成するためには、オンデマンド形式の授業資料提示と対面授業を組み合わせることが効果的ではないかと考えた。

そこで本稿は、大学体育授業受講者に対してバドミントンのルールと技術の教授方法についてアンケート調査を行い、その結果を報告すると共に「今後の授業内容の改善」に役立てることを目的とした。

## 2. 方法

### 2.1 対象者

高千穂大学で 2022 年度春学期火曜 3 限及び 4 限に開講された教養科目「生涯スポーツ (バドミントン)」を受講した 56 名を対象とした。クラスの人数の内訳は火曜 3 限 30 名、火曜 4 限 26 名であった。

### 2.2. 授業内容

授業は対面で 14 回 (第 1 回授業から第 14 回授業まで) 行い、第 15 回授業は Google Classroom を利用したオンデマンド授業を行った。第 1 回授業から第 9 回授業までを授業期間前半、第 10 回授業から第 14 回授業までを授業期間後半とした。

授業期間前半は、第 1 回授業で「ストレッチング」と「ラケット操作」を行い、第 2 回授業から第 7 回授業は授業前半に「基礎打ちドリル」、「フットワークドリル」、「ダブルスドリル」、「シングルス練習」、「ダブルス練習」を全体の習熟度に合わせて段階的に行い、授業後半に練習ゲームを行った。さらに、技術の理解の助けとして、授業資料を 2 回 (第 4 回授業後と第 6 回授業後) 提示し、口頭で説明 2 回 (第 8 回授業と第 9 回授業) を行った。その第 8 回授業と第 9 回授業は口頭説明と技術練習の後に公式ゲームの予行を行った。

授業期間後半は、第10回授業から第12回授業で授業前半にシングルス練習、ダブルス練習を行い、授業後半に公式ゲームを行った。第13回授業と第14回授業は授業前半にシングルス練習、ダブルス練習を行い、授業後半に親善ゲームを行った。(表1)

対面授業の参加人数は24名前後で、コートは6面を使用したため、1面あたり4名で授業を運営した。

表1 授業内容

授業回	授業前半	授業後半	
第1回	ストレッチング・ラケット操作・基礎打ち・練習ゲーム		
第2回	基礎打ちドリル・フットワークドリル		
第3回	基礎打ちドリル・フットワークドリル	練習ゲーム (シングルス)	
第4回	基礎打ちドリル・フットワークドリル		
	<u>授業資料提示：バドミントンの基礎</u>		
授業 期間 前半	第5回	基礎打ちドリル・ダブルスドリル	
		<u>授業資料提示：バドミントンの基本</u>	練習ゲーム (ダブルス)
第6回	基礎打ちドリル・ダブルスドリル		
第7回	基礎打ちドリル・ダブルスドリル		
第8回	<u>口頭説明：バドミントンの応用</u>		
	シングルス練習・ダブルス練習		公式ゲームの予行
第9回	<u>口頭説明：バドミントンの応用</u>		
	シングルス練習・ダブルス練習		
アンケート調査			
第10回			
授業 期間	第11回	シングルス練習・ダブルス練習	公式ゲーム
	第12回		
後半	第13回	シングルス練習・ダブルス練習	親善ゲーム
	第14回		
第15回	まとめ (オンデマンド)		

## 2.3 授業期間前半

### 2.3.1 ストレッチング

運動習慣が無い受講者がほとんどであったため、関節可動域を広げる目的で上下肢のスタティックストレッチングを行い、傷害予防の目的で足関節のバランス、技術向上の目的で肩甲骨と股関節のダイナミックストレッチングを行った。

### 2.3.2 ラケット操作

ラケットの握り方（イースタングリップとウエスタングリップ）を確認した後に、ラケット操作として、フォアハンドストロークまたはバックハンドストロークで連続して5回真上に打ち上げた後に、シャトルを落とさずにラケットで受けて、落とした場合には手を使わずにラケットで拾うことを繰り返した。

### 2.3.3 基礎打ちドリル

1面のコートに4人(①②③④)入り、ストレートコースでラリーを行った。

①を固定して、②③④が時計周りに移動して練習相手を交代した。(図1)

練習時間は30秒間で3回移動(1周)してストロークの制限を変更した。

ストロークの制限は「ハイクリアのみ」→「ドロップ追加」→「ヘアピン、ロブ追加」→「ドライブのみ」→「プッシュ追加」と習熟度に合わせて段階的に設定した。

### 2.3.4 フットワークドリル

1面のコートに2人(①②)入り、①はホームポジションからランダムにフォア前、バック前、フォア後ろ、バック後ろを狙ってシャトルを打ち、それに対して②がホームポジションから移動して打たれたシャトルを①に返球した。(図2)

①の位置はホームポジションから習熟度に合わせて後ろに下げた。

②はホームポジションから1歩目を早く動かすことと、返球後にすぐにホームポジションに戻ることを意識させた。

練習時間は①が固定として②が30秒間で交代した。

①の打つ球は習熟度に合わせて段階的に②がぎりぎり返球できる位置を狙った。

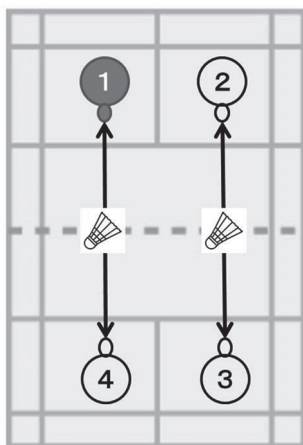


図1 基礎打ちドリル

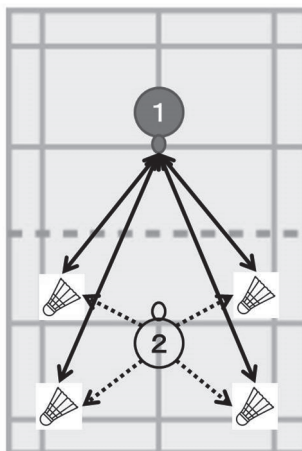


図2 フットワークドリル

### 2.3.5 ダブルドリル

サイドバイサイド（守備的なフォーメーション）（図3）からトップ&バック（攻撃的なフォーメーション）（図4）になるタイミングを覚えることを目的とした。

そのタイミングは相手が高い球（ハイクリアやロブ）を打った時と説明した。

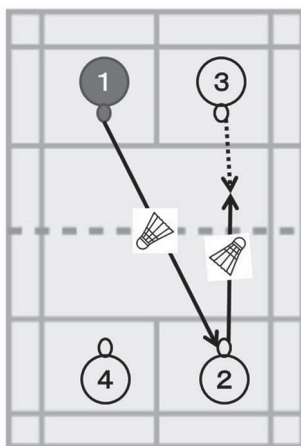


図3 サイドバイサイド

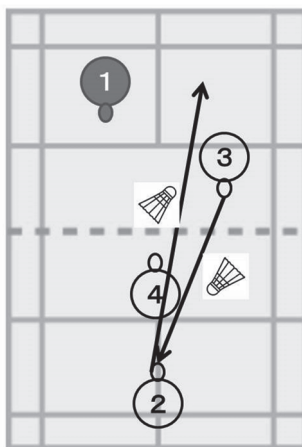


図4 トップアンドバック

### 2.3.6 シングルス練習

基礎打ちドリル、フットワークドリルで習得したテクニックを実戦形式の練習でスキルとして使えるようになることを目的として行った。

サーブからはじめてどちらかのプレイヤーがポイントを取るまで続けることを繰り返した。

### 2.3.7 ダブルス練習

ダブルスドリルで習得したテクニックを実戦形式の練習でスキルとして使えるようになることを目的として行った。

サーブからはじめてどちらかのプレイヤーがポイントを取るまで続けることを繰り返した。

### 2.3.8 練習ゲーム

1 ゲーム 2 分として勝敗によって相手を入替ながらシングルスとダブルスを4～8 ゲーム行った。(図 5)

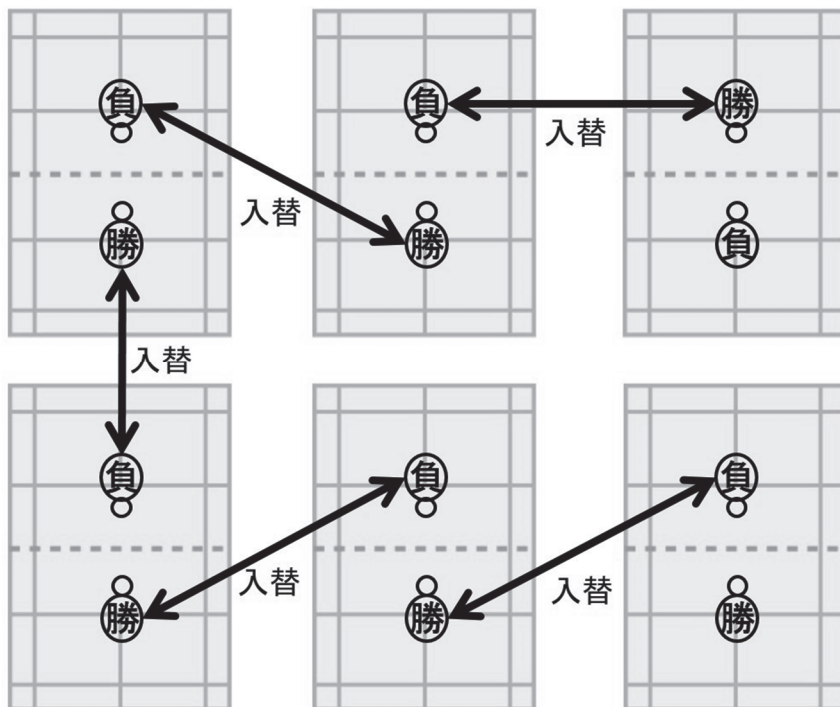


図5 練習ゲーム入替例（シングルス）

### 2.3.9 公式ゲームの予行

公式ゲームの予行として②リーグ戦、③トーナメント戦を行った。

## 2.4 授業期間後半

### 2.4.1 シングルス練習

基礎打ちドリル、フットワークドリルで習得したテクニックを実戦形式の練習でスキルとして使えるようになることを目的として行った。

### 2.4.2 ダブルス練習

ダブルスドリルで習得したテクニックを実戦形式の練習でスキルとして使えるようになることを目的として行った。

### 2.4.3 公式ゲーム

①チーム分け（個人戦）、②リーグ戦（団体戦）、③トーナメント戦（団体戦）の3回完結とした。

①チーム分けは、参加者全体を2グループに分け、シングルの練習ゲーム形式で交互に5ゲーム行い暫定ランキングを決め、上位から4名ずつを同グループ（6グループ）としてリーグ戦を行い、その結果から3グループのトーナメント戦を行い、その結果から6チームを編成した。個人戦の結果は記録用紙に記入した。（資料1）

試合結果記録用紙（個人戦）

---

★ リーグ戦 資料1

	1	2	3	4	計	
1	/					位
2		/				位
3			/			位
4				/		位

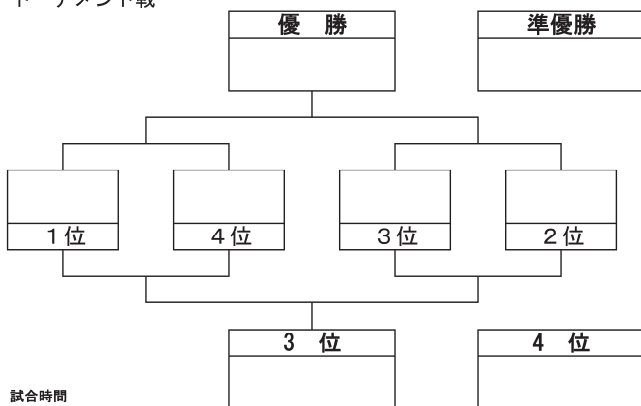
得点数を記入してください。

試合順

	1	2	3	4
1	/	①	③	⑤
2	①	/	⑥	④
3	③	⑥	/	②
4	⑤	④	②	/

試合時間 3分 × 6ゲーム + 6分 × 2 = 30分

★ トーナメント戦





②リーグ戦、③トーナメント戦は1名のプレイヤーがシングルス1ゲーム、ダブルス2ゲームを同レベルの対戦相手と行い、勝ち点制（勝ち2点、引き分け1点、負け（4点差以内）1点、負け（5点差以上）0点）で勝敗を決めた。団体戦の結果は記録用紙に記入した。（資料2）

試合結果記録用紙（団体戦）

資料2

チーム	メンバー			
	1	2	3	4

試合順											
1	シン	ダブ	2	シン	ダブ	3	シン	ダブ	4	シン	ダブ
	4	2		3	1		2	4		1	3
		3			2			1			4

勝点（リーグ戦）													
1	シン	ダブ	2	シン	ダブ	3	シン	ダブ	4	シン	ダブ	計	点

勝点（リーグ戦）													
1	シン	ダブ	2	シン	ダブ	3	シン	ダブ	4	シン	ダブ	計	点

勝点（トーナメント戦）													
1	シン	ダブ	2	シン	ダブ	3	シン	ダブ	4	シン	ダブ	計	点

勝点（トーナメント戦）													
1	シン	ダブ	2	シン	ダブ	3	シン	ダブ	4	シン	ダブ	計	点

勝点（トーナメント戦）													
1	シン	ダブ	2	シン	ダブ	3	シン	ダブ	4	シン	ダブ	計	点

勝点  $2 \text{ 分} \times 4 \text{ ゲーム} + 1 \text{ 分} \times 3 = 11 \text{ 分}$

勝ち 2 点  
引分け 1 点  $3 \text{ 分} \times 4 \text{ ゲーム} + 1 \text{ 分} \times 3 = 15 \text{ 分}$

負け 0 点  
負け 1 点 ← ( 4点差以内 )

★ リーグ戦

A	1	2	3	計	
1	/				位
2		/			位
3			/		位

B	4	5	6	計	
4	/				位
5		/			位
6			/		位

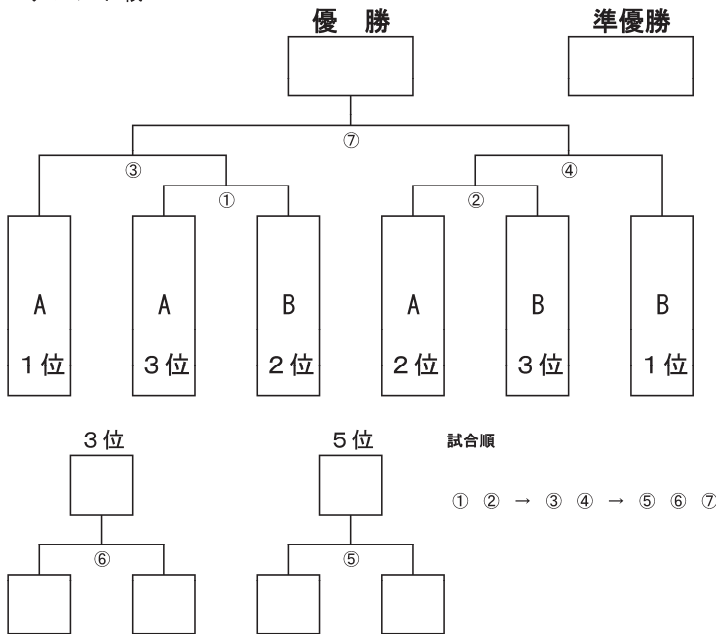
試合順

1 - 2    2 - 3    3 - 1

試合順

4 - 5    5 - 6    6 - 4

★ トーナメント戦



2.4.4 親善ゲーム

バドミントンを生涯スポーツとするために、シングルスかダブルス、リーグ戦かトーナメント戦、個人戦か団体戦を自由に選択して自主的にゲームを楽しむことを目的にゲームを行った。

## 2.5 授業資料および口頭説明

授業資料は初学者の興味を引くために検索エンジン（Google）にキーワードを入れ、上位にヒットした Web ページの中から選んだものを利用した。資料の作成方法は Microsoft PowerPoint に Web ページをスクリーンショットしたものを URL とともに張り付け、動画資料は URL を張り付け、PDF ファイルに変換して Google Classroom を用いて提示した。

Web ページの利用の際は「改正著作権法第 35 条」を念頭に「受講者以外には閲覧させない」、「授業の過程における利用」で「必要と認められる限度」であること、「著作権者の利益を不当に害しないこと」に留意した。

口頭説明は授業資料を「見ていない」または「理解できていない」と判断した内容を「バドミントンの応用」として対面で説明した。

### 2.5.1 バドミントンの基礎

バドミントンの基礎の資料内容は以下の通りであった。（表 2）

#### 1. バドミントンのいろは

い：コートのはりさは？

- ・コートラインの種類とポストの高さ、ネットの高さの説明

ろ：シングルス・ダブルスって？

- ・ゲームの対戦形式にはシングルスとダブルスがある。
- ・シングルスは体力的にきついのでチームプレーを楽しむダブルスの人気がある。

は：素振りをしてみよう

- ・イースタングリップ、ウエスタングリップとオーバーヘッドストロークの説明

#### 2. ゲームの流れとルール

バドミントンコート

- ・シングルス及びダブルスのサーブを打つ順番の説明

基本ルール

- ・ゲームとマッチの説明

### 3. 3分でわかるバドミントンのルール

#### ① 基本的なルール

- ・21点2ゲーム先取である。

#### ② シングルス

- ・サーブの時とラリーの時のコート範囲の説明

#### ③ ダブルス

- ・サーブの時とラリーの時のコート範囲の説明

### 4. 基本ルール

#### フォルトについて

- ・サービスで相手の得点になってしまう場合の説明

#### レットについて

- ・サービスをやり直す場合の説明

### 5. OLYMPIC CHANNEL

gorin.jpにある以下の動画を紹介した。

- ・ワタガシペアがバド混合ダブルス初のメダル獲得
- ・高橋礼華&松友美佐紀の逆転劇！バドミントン界初の金メダル
- ・奥原希望、準決勝で敗れるもシングルス初の銅メダル
- ・バドミントン女子ダブルス準々決勝小椋&潮田ペア

表2 バドミントンの基礎

<p>1. バドミントンのいろは (Let's Play Badminton for Beginner) URL: <a href="https://badminton-beginner.com/BD_iroha.html">https://badminton-beginner.com/BD_iroha.html</a> アクセス日時: 2022年6月26日(日) 7:22</p>
<p>2. ゲームの流れとルール (Let's Play Badminton for Beginner) URL: <a href="https://badminton-beginner.com/BD_game.html">https://badminton-beginner.com/BD_game.html</a> アクセス日時: 2022年6月26日(日) 7:32</p>
<p>3. 3分でわかるバドミントンのルール URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=ADGC72w6YA0">https://www.youtube.com/watch?v=ADGC72w6YA0</a> アクセス日時: 2022年6月26日(日) 7:42</p>
<p>4. 基本ルール (J Sports ホームページ) URL: <a href="https://www.jsports.co.jp/badminton/about/rule/">https://www.jsports.co.jp/badminton/about/rule/</a> アクセス日時: 2022年6月26日(日) 7:47</p>
<p>5. OLYMPIC CHANNEL (gorin.jp) URL: <a href="https://www.gorin.jp/video/">https://www.gorin.jp/video/</a> アクセス日時: 2022年6月26日(日) 7:50</p>

## 2.5.2 バドミントンの基本

バドミントンの基本の資料内容は以下の通りであった。(表3)

### 1. 基本的なショットの種類

- ・サービス (ショートサービス・ドライブサービス・ロングサービス)・クリア (ハイクリア・ドリブンクリア)・ドロップ・カット・スマッシュ・ヘアピン・ドライブ・プッシュ・ロブの説明

### 2. ゲームの流れとルール

- ・ゲームの進め方の一例

### 3. ホームポジションは「真ん中」が正しいのか?

- ①得意を活かすホームポジション
- ②苦手をカバーするホームポジション

③相手の位置によってホームポジションを変える

まとめ；局面でホームポジションは変わる

5. 奥原希望が教える「前へのフットワーク」

①1歩目の動き出しが大事

②羽根を下から見る

③足の運び方

6. 奥原希望が教える「後へのフットワーク」

①1歩目のスピードが大事

②下から入る

7. 五輪メダリストが教えるフットワーク練習！

15種目のインターバルトレーニングの紹介

8. ダイジェスト動画 第11章 フットワーク

9種目のインターバルトレーニングの紹介

9. 【初心者必見】フォーメーションの基礎【図解あり】

シャトルに対してパートナーとの位置を二等辺三角形にする。

10. サイドバイサイドとトップアンドバック

①相手が高い球を上げたときトップ&バックになる。

②高い球を上げさせるには低い球やネット前に落とすことが有効

11. ノックローテーション

ノック練習で前衛と後衛の入れ替えを行う。

12. 2対1で攻撃

①体力を消耗させる

②決め急ぐためミスが多くなる

③カバーに入るためスペースができる

表3 バドミントンの基本

<p>1. 基本的なショットの種類                  (J Sports ホームページ)                  アクセス日時：2022年6月26日(日) 19:52                  URL: <a href="https://www.jsports.co.jp/badminton/about/shot/">https://www.jsports.co.jp/badminton/about/shot/</a></p>
<p>2. ゲームの流れとルール                  (Let's Play Badminton for Beginner)                  アクセス日時：2022年6月26日(日) 7:32                  URL: <a href="https://badminton-beginner.com/BD_game.html">https://badminton-beginner.com/BD_game.html</a></p>
<p>3. ホームポジションは「真ん中」が正しいのか？                  (バドミントン上達塾)                  アクセス日時：2022年6月26日(日) 19:56                  URL: <a href="http://badminton-life.com/blog/singles/1935.html">http://badminton-life.com/blog/singles/1935.html</a></p>
<p>4. ダイジェスト動画 第11章 フットワーク                  (みんなうまくなる バドミントン 基本と練習)                  アクセス日時：2022年6月26日(日) 21:04                  URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=X4pHmX5HCsU">https://www.youtube.com/watch?v=X4pHmX5HCsU</a></p>
<p>5. 奥原希望が教える「前へのフットワーク」                  (奥原希望 - Nozomi OKUHARA-channel)                  アクセス日時：2022年6月26日(日) 21:06                  URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=JV41t6o4Wak">https://www.youtube.com/watch?v=JV41t6o4Wak</a></p>
<p>6. 奥原希望が教える「後へのフットワーク」                  (奥原希望 - Nozomi OKUHARA-channel)                  アクセス日時：2022年6月26日(日) 21:08                  URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=vD-90lApDNk">https://www.youtube.com/watch?v=vD-90lApDNk</a></p>
<p>7. 五輪メダリストが教えるフットワーク練習！                  (奥原希望 - Nozomi OKUHARA-channel)                  アクセス日時：2022年6月26日(日) 21:10                  URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=P44mwbWQzVA">https://www.youtube.com/watch?v=P44mwbWQzVA</a></p>
<p>8. ダイジェスト動画 第11章 フットワーク                  (みんなうまくなる バドミントン 基本と練習)                  アクセス日時：2022年6月26日(日) 21:04                  URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=X4pHmX5HCsU">https://www.youtube.com/watch?v=X4pHmX5HCsU</a></p>

<p>9. 【初心者必見】 フォーメーションの基礎【図解あり】  (健バド バドミントン上達ブログ【by 健ジム】)  アクセス日時：2022年6月26日(日) 21:29  URL: <a href="https://machida-badminton.com/formation/">https://machida-badminton.com/formation/</a></p>
<p>10. サイドバイサイドとトップアンドバック  (NHK スポーツ教室バドミントン)  アクセス日時：2022年6月26日(日) 21:42  URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=XyBPHChYZ50">https://www.youtube.com/watch?v=XyBPHChYZ50</a>  URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=tfQqnT-kwRM">https://www.youtube.com/watch?v=tfQqnT-kwRM</a></p>
<p>11. ノックローテーション  (NHK スポーツ教室バドミントン)  アクセス日時：2022年6月26日(日) 21:44  URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=GCDZl9fxC4Q">https://www.youtube.com/watch?v=GCDZl9fxC4Q</a></p>
<p>12. 2対1で攻撃  (NHK スポーツ教室バドミントン)  アクセス日時：2022年6月26日(日) 21:53  URL: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=9tof6xvEJx0">https://www.youtube.com/watch?v=9tof6xvEJx0</a></p>

## 2.6 アンケート調査

対象者は Google classroom を利用したアンケート調査に協力した。アンケート提示日は第9回授業終了後の2022年6月4日(土)で、回答期限は7日後(2022年6月11日(土) 23時59分)であった。

アンケートの回答への協力は任意とし、アンケートの初めに以下のような記載をして同意を求め、個人情報の扱いに配慮した。

「アンケートの協力は任意ですが、回答を提出していただけると助かります。協力いただけない場合でも成績等で不利益、協力いただけた場合に成績等で有益になることはありません。このアンケートで個人を特定するようなことはしません。得られた情報は研究論文を作成し、研究誌に投稿するために使用し、それ以外の目的では使用しません。同意していただける場合には『同意する。』を選んでください。よろしくお祈いします。」

上記について「同意する。」「同意しない。」「その他」の選択肢を設けて回答してもらい回答者全員の同意を得た。



アンケートの質問項目は性別とバドミントンについての択一式と自由記述式の質問であった。

択一式の質問と選択肢、自由記述式の質問を以下に示す。

【問 1】性別を選んでください。回答は必須ではありません。

選択肢：「男性」「女性」「回答しない」「その他」

【問 2】バドミントンの経験について選んでください。

選択肢：「部活動やクラブなどで経験した。」「高校までの体育授業で経験した。」「経験したことが無かった。」「その他」

【問 3】「授業資料」を見ましたか。「見なかった。」と回答した方はこの質問でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

選択肢：「『バドミントンの基礎』だけ見た。」「『バドミントンの基本』だけ見た。」「『バドミントンの基礎』と『バドミントンの基本』の両方を見た。」「見なかった。」「その他」

【問 4】「授業資料」を見ることによって「ルールの理解」が出来たと思いますか。

選択肢：「出来たと思う。」「出来なかったと思う。」「分からない。」「その他」

【問 5】「ルールの理解」について「出来たと思う。」と答えた人は良かった点を、「出来なかったと思う。」と答えた人は改善点を書いてください。

【問 6】「授業資料」を見ることによって「技術の理解」が出来たと思いますか。

選択肢：「出来たと思う。」「出来なかったと思う。」「分からない。」「その他」

【問 7】「技術の理解」について「出来たと思う。」と答えた人は良かった点を、「出来なかったと思う。」と答えた人は改善点を書いてください。

## 2.7 分析方法

分析対象はアンケート調査に協力の同意をして回答があった 27 名（男性 15 名、女性 12 名）（回答率 48.2%）とした。なお、性別の質問で「回答しない」「その他」の回答は無かった。

択一式の回答は人数を集計し、自由記述式の回答は全文を記載した。

### 3. 結果

#### 3.1 アンケート結果

##### 3.1.1 「バドミントンの経験」について

択一式の質問「バドミントンの経験について選んでください。」の回答結果を表で示す。(表 4)

表 4 バドミントンの経験について

	部活動やクラブなど	高校までの体育授業	経験無し	合計
男性	1 (4)	10 (37)	4 (15)	15 (56)
女性	4 (15)	5 (19)	3 (11)	12 (44)
合計	5 (19)	15 (56)	7 (26)	27 (100)

数値は人数（割合）で表記した。

##### 3.1.2 「授業資料」について

択一式の質問「『授業資料』を見ましたか。」の回答結果を表で示す。(表 5)

表 5 授業資料について

	「バドの基礎」だけ	「バドの基本」だけ	両方見た	見なかった	合計
男性	2 (4)	2 (7)	5 (19)	6 (22)	15 (56)
女性	3 (15)	0 (0)	5 (19)	4 (15)	12 (44)
合計	5 (19)	2 (7)	10 (37)	10 (37)	27 (100)

数値は人数（割合）で表記した。

##### 3.1.3 「ルールの理解」について

択一式の質問「『授業資料』を見ることによって『ルールの理解』が出来たと思いますか。」の回答結果を表で示す。(表 6) なお、分析対象は「授業資料を

見なかった」と回答した10名を除いた17名とした。

表6 「ルールの理解」について択一式の回答

	出来たと思う	出来なかったと思う	分からない	その他	合計
男性	5 (29)	1 (6)	2 (12)	1 (6)	9 (53)
女性	5 (29)	2 (12)	1 (6)	0 (0)	8 (47)
合計	10 (59)	3 (18)	3 (18)	1 (6)	17 (100)

数値は人数（割合）で表記した。

「その他」の回答は「友達に教えてもらった」であった。

次に、択一式の質問で「出来たと思う」、「出来なかったと思う」と回答し、自由記述式で回答があった結果を表で示す。なお、「分からない」と「その他」については自由記述式で回答が無かった。（表7・表8）

表7 「ルールの理解」についての自由記述式の回答（出来たと思う）

「高校までの体育授業」で経験し、「バドミントンの基礎」だけ見た。

1. とてもわかりやすかった。（男性）
2. 写真などを貼ってくれていたのがよりわかりやすかった。（女性）

「高校までの体育授業」で経験し、「両方」見た。

3. サーブの順番やコートのラインはあまり意識したことがなかったのでそこがしっかり解説されていて良かった。（男性）
4. 文字だけでなくイラスト？とかがあったから見やすかった（女性）

表8 「ルールの理解」についての自由記述式の回答（出来なかったと思う）

「部活動やクラブなど」で経験し、「両方」見た。

1. ルールについて文字やイラストだけでなくできれば動画があるといいと思う。授業の中で打ち方については理解している人が多かったけどルールはよく分からず質問に来る人がいた。（女性）

### 3.1.4 「技術の理解」について

択一式の質問「『授業資料』を見ることによって『技術の理解』が出来たと思いますか。」の回答結果を表で示す。(表 9) なお、分析対象は「授業資料を見なかった」と回答した 10 名を除いた 17 名とした。

表 9 「技術の理解」について

	出来たと思う	出来なかったと思う	分からない	その他	合計
男性	6 (35)	0 (0)	3 (18)	0 (0)	9 (53)
女性	6 (35)	0 (0)	2 (12)	0 (0)	8 (47)
合計	12 (71)	0 (0)	5 (29)	0 (0)	17 (100)

数値は人数（割合）で表記した。

次に、択一式の質問で「出来たと思う」、自由記述式で回答があった結果を表で示す。なお、「出来なかったと思う」と「分からない」については、自由記述式で回答が無かった。(表 10)

表 10 「技術の理解」について自由記述式の回答（出来たと思う）

「部活動やクラブなど」で経験し、「両方」見た。

1. 打ち方の説明ごとにその打ち方についての動画を入れていて文章やイラストだけでは理解しきれなかった部分をしっかりイメージしやすくしてくれていた点。(女性)

「高校までの体育授業」で経験し、「バドミントンの基本」だけ見た。

2. 打ち方やサーブの狙い所などが理解出来た。(男性)

「高校までの体育授業」で経験し、「両方」見た。

3. ステップを解説してくれていたので上手く動くことが出来た。(男性)
4. YouTube の URL も乗っていて理解できたと感じる。(女性)

「経験無し」で、「両方」見た。

5. YouTube なども記載されていたため、実際に行われている動きを見ることで理解を深めることができた。(女性)

## 4. 考察

本稿の目的は「今後の授業内容の改善」に役立てることであるので、以下の2点について考察した。

### 4.1. 「ルールの理解」について

ゲーム中に「ルールに適したプレイでない」という現象が起こる理由には「意図的にルールを守らない」ことを除けば「ルールを理解していないこと」と「技術が未熟であること」があると考えられる。

「ルールを理解していないこと」については、自主的に授業資料を見た受講者はルールに対して関心が高い。それ以外の受講者に対して口頭のみでルールを説明して理解させることは難しいと考える。自由記述式の回答にあったように、今後は動画を利用することや実技の中で時間を取り受講生同士で教えあう等の工夫が必要である。

「技術が未熟であること」については、受講者はルールを守ろうと意識しているが、技術が伴わないために結果的に「ルールに適したプレイでない」となってしまうことがある。例えば、サーブを打つ際に相手にスマッシュで返されないようにショートサーブを打つが、その技術を習得するには時間がかかる印象がある。一方、卓球ではショートサーブを打つことが可能になることには時間がかからない印象がある。そのためにバドミントンでは、反則とわかっていながらサイドハンドストロークでサーブを打つことが散見される。競技スポーツであれば反則を厳しく取り締まる必要があるが、生涯スポーツではそのことによって競技に対する興味を失ってしまう懸念がある。授業で行う場合にはどこまでを許容範囲とするかの判断が難しい。

### 4.2. 「技術の理解」について

これまでに行った卓球及びバレーボールの実践研究の中で著者自身も授業資料を参考にして授業欠席者の代わりとしてゲームに加わっていた。

本稿の実践研究においても同じようにゲームに参加したが、卓球やバレーボールより授業資料で得た知識を技術として発揮することに困難を感じた。その理由としてバドミントンは卓球と比較してショットの種類が多く、バレーボールと比較してシャトル（ボール）のスピードが速い。さらに、ダブルスにおいてバドミントンのフォーメーションは卓球のサイドバイサイドのみと比較して、トップアンドバックへの切り替えも求められる。ここまでの技術を身に着けることは競技スポーツで求められることであり、生涯スポーツでは実践できないまでも知識として理解することは必要であると考える。

## 謝辞

本論文を作成するにあたって、高千穂大学 2022 年度春学期火曜 3 限及び 4 限「生涯スポーツ（バドミントン）」の受講生の皆様がアンケート調査に協力して下さったおかげで本稿を完成させることができました。貴重なご意見をいただきましたことに深く感謝しております。

---

## 文献

- 1) 難波秀行・佐藤和・園部豊・西田順一・木内敦詞・小林雄志・田原亮二・中田征克・中山正剛・西垣景太・西脇雅人・平工志穂（2020）授業者からみたコロナ禍に行われた遠隔による大学体育実技の教育効果の検証. 大学体育スポーツ学研究, 18 : pp021-034
- 2) 廣瀬文彦・齊藤武利（2022）大学体育授業における卓球のルールと技術の教授方法についての実践研究①—2021 年度後期一, 白鷗大学教育学部論集, 16 (1) : pp429-442
- 3) 廣瀬文彦・齊藤武利（2022）大学体育授業におけるバレーボールのスパイク練習法についての実践研究①—2021 年度後期一, 白鷗大学論集, 第 36 巻第 2 号 : pp103-129
- 4) 高千穂大学シラバス 2022 年度版. 2022 年 6 月 19 日（日）16:03  
URL:[https://www.takachiho.jp/library/PDF/kyomu/gakubu\\_syllabus.pdf](https://www.takachiho.jp/library/PDF/kyomu/gakubu_syllabus.pdf) : p40